夕刊
十二月十七日發行
定價一ケ月金六拾錢
廣告料金　一行五拾錢
磐城新聞社
（毎日曜日祭日休刊）

精神日本の再建　四

文部政務次官　東郷實

斯の如く考へて見れば我が國の今日の經濟界の行詰は然らば何か、いろ〳〵の、而して是より生ずる所見方があらうが、私は常にの有らゆる點に於ける腐敗言ふのである。神武大帝が墮落と云ふものは、結局餘日向の地をた出ましになつに外國に模倣し過ぎて己て都を大和にお定めになつを忘れ、民族としての自己たのが、神武天皇の東征のと云ふ信念、國家としての大業であるが、あの場合の自己と云ふ信念を忘れて行つた結果であると斯う考へざるを得ないのである、であるから今日の此行詰りを打開する根本としては私はどうしても物質に墮落した所の國民の精神を作興し享樂第一主義の中毒に惰み切つて居る我々國民の意氣を作興しなければならぬと考へる。更に言葉を換へて言ふならば、外國模倣に終始一貫した所の此時弊を根本的に打開し道德を先にして功利を後にし、物質に先立つに精神を以てし、正道を踏んで大義を行ふと云ふ日本固有の精神に復活更生すると云ふことが何よりも今日の急務なりと信ずるのである。無論今日は此時局匡救の方法として所謂經濟日本の立直しは必要であるが、それよりももつと急務であり必要であるものは精神日本の再建なりと叫ばざるを得ないのである。精神日本の再建、是れが今日行詰つた時局を根本的に匡救する基礎である、然らば此の目的達成の爲には何うすれば宜いか、私は極めて簡單だと思ふ。それは我々九千萬國民が總動員を行つて而して我が國建國の大精神に甦へると云ふことであると思ふ。

三、根本の立直しは廣き意味の教育

我が國の建國の大精神と文化の建設である。即ち、が國建國の基礎は精神文化の建設にあつて、而も之を恢弘して天下に光宅せんと仰せられたのは、單に此精神文化を日本内地にのみ限らず、之を普く全世界に押廣めて行つて、全人類の幸福を平等に增進し、全世界に眞の平和の殿堂を我々日本民族の手に依つて現實の地上に建立すると言ふのが

宣言の中に『天業を恢弘し天下に光宅せん』と仰せら

て營む所の業であつて、今日の言葉でいふならば精神宏大無邊なものであつたにも拘らず、現在の我々日本人が之を忘れて明治以來一も二もなく西洋に學び、西洋の物質文化を模倣に模倣を重ねつゝやつて來た。

確立すると言つたやうな、

時代警語

○零碎の光陰。集まりて極大の價値を顯はす……（スマイルス）

毎日一時間宛積んで十年の永きに至れば平凡の人も必ず一學科に長ずるに至り、愚昧の人も必ず化して聰明の人となるものである……

れてゐる。天業とは天の心を我々人類文化の中心とし

神武天皇建國の大理想であり大精神であると拜察するのである。斯くの如く我が大日本帝國の建國の基礎は精神文化の建設であり、而も此精神文化を世界に押廣めて全人類の幸福を平等に增進し、眞の世界の平和を

冬日抄（舊作）

新妻久滿夫

○おしつまりて雪のいたれる山の肌　寒けく見つゝ歩み來にけり

○冬の日のかげろふ庭の土さむし　煤けて立てる枇杷の木のむれ

○うち仰ぐ枇杷の煤葉のしづもりて　雪ぞらいよゝ曇り來にけり

○宵早く子を寢につかせ木枯の　ゆする夜つまともの語ひにけり

○砂卷きてひとときすさぶ木がらしを　しばし立ち避け道ゆきにけり

○海近き松生の下の砂のいろ　さむ〳〵と冬は深みゆくかも

○靜もれる冬日溜りて海近き　松原の土に鳥の下りゐる

○白々とみ雪いたれる山のみねみつゝをさぶし歳のつまりて

新年懸賞歌募集

一、題　水、雪、
一人三首以内投稿（官製ハガキ使用のこと）
二、締切　十二月二十五日頃
三、發表　一月一日磐城新聞紙上
四、選者　小山田　滋
五、賞品　一等（置時計）一名　二等（本紙三ケ月購讀券）二名　三等（本紙一ケ月購讀券）十名
三名　秀逸（本紙一ケ月購讀券）十名

磐城新聞社

拈華微笑

◇根が商港の問題丈け所謂魚ごゝろに水ごころで行かねば駄目

◇今朝方そんな事つて終ふ

◇十錢の納稅が出來ぬ山村民。命の方が前に納まつて終ふ

◇カレンダー明日曜から十四枚

◇氣違ひに刃物。白痴にバール。あぶなかつた勿來の鐵道妨害

◇

△米國獨立戰爭始まる（一、七七五）△米國奴隷制度を廢止す（一、八六二）△山梨大將起訴決定（昭和四）△蘭領ヂャワの火山大爆發千三百名慘死す（同五）△地方長官異動（同六）

社會の今日

○ふる雪にいつとはなしに日が暮れて、安心したよな街の靜寂　加藤齡明

そのなかの何れを君は選ばらむ、舞台の上の五枚羽子板　吉井勇

講談　お蘭陀お蝶

波邊默禪作
布施長春畫

（2IO）

『えつ、それではお手前此の瀧壺に這入る所存か』

波多野は驚ろいて止めた

『それは無謀だ、いかに水練の達人でも此の通り激しい水の中だ、萬一のことがあると不可ん控へたがよかめて全人類の幸福を平等にならう、コレ龍馬』

『何の是しきッ、叔父上賴

『えゝ、何といふても可厭ぢや〳〵。さア一思ひに殺しなはれ』

『なんぢや、殺してくれ、殺されたら命がないくらゐは手めえも知つてゐるのだらう、命は二つと有るものではない、只一つの命を棒に振るくらゐなら、どんな辛ひことでも我慢ができさうなものだ。もう一度よく考へて見ろ、我慢は一時死印を捺させて呉れろといふ要求、無理がないのでその通りに手運をつけ、後から山越をして、二人だけ先に逃がして遣らうといふことなにつた、と、お蝶は依然として屈する色がない、無いばかりか手強く抗ひ立てる、持餘して寂光坊は遂に最終の手段を取るに至つた

『〆めたぞッ』

波多野は岩の上で雀躍した

× ×

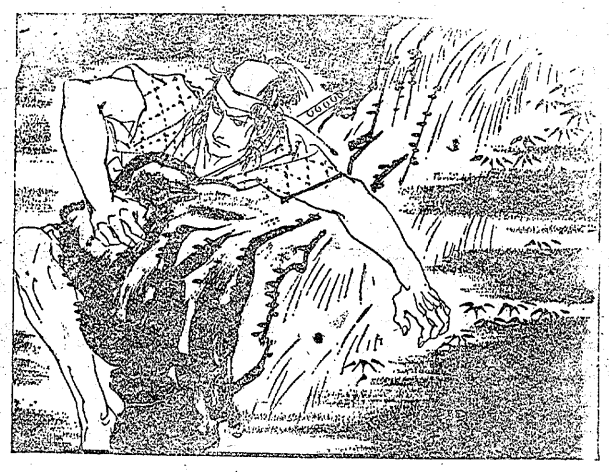
『やい、阿魔、奴ア是れでも角を折らぬのか、ねッ方圖の知れねえ强突張だ！』

寂光坊は最後の威嚇を加へつつある時であつた

『えゝ、何といふても可厭ぢや〳〵。さア一思ひに殺しなはれ』

『なんぢや、殺してくれ、殺されたら命がないくらゐは手めえも知つてゐるのだらう、命は二つと有るものではない、只一つの命を棒に振るくらゐなら、どんな辛ひことでも我慢ができさうなものだ。もう一度よく考へて見ろ、我慢は一時死印を捺させて呉れろといふ要求、無理がないのでその通りに手運をつけ、後から山越をして、二人だけ先に逃がして遣らうといふことなにつた、と、お蝶は依然として屈する色がない、無いばかりか手強く抗ひ立てる、持餘して寂光坊は遂に最終の手段を取るに至つた

此方の技倆を見せてからでも遲くはない、と評議の末洞に居してあつた刀劍、銃槍の類を持出し次に山陰に積んである大石を懸崖上に搬んで、さてこそ右の如く客手を惱まし立てたのである。で一方は金五郎に向つて居直談判を開くと、その見幕に怯ねて一も二もなく代りお蝶に得心させて、身賣の証文に名を書入れ、拇印を捺させて呉れろといふ要求、無理がないのでその通りに手運をつけ、後から山越をして、二人だけ先に逃がして遣らうといふことなにつた、と、お蝶は依然として屈する色がない、無いばかりか手強く抗ひ立てる、持餘して寂光坊は遂に最終の手段を取るに至つた



ラヂオ

…十八日…〔日曜〕…

仙臺　JOHK

△前九、〇〇　氣象
△九、一〇　榮養料理（雜煮…主料理　膾…副料理）榮養研究所
△九、五〇（子供の時間）三重奏と皷笛　トリオ、サンシャイン　木琴と太皷…三上秀俊　サキソホンとクラリネット…橋田胖　ピアノ…小泉信一
△一〇、〇〇〇　宗教講話（三つの力）大須賓生院住職大槻快尊
△一〇、四〇A　講演　陸軍省軍事調査委員長陸軍少將谷壽夫
△一一、一〇　謠曲講座（謠の道しるべ）實演…寶生新　解說…池内信嘉
△正午　時報　氣象
△後〇、三〇A　ニュース
△〇、五〇G　俚謠（一、神樂歌　二、神樂せり唄　三、高千穗小唄　四、稗搗節）宮崎縣臼杵郡高千穗町
△一、一〇H　俚謠（一、會津大津繪　二、相馬甚句　三、相馬二へん返し　四、相馬長持唄　五、粉すり唄　六、田植唄）
△一、三〇F　俚謠（伊豫萬歳…イ、松山騷動　ロ、三勇士）松山聯合青年團演藝部共樂會淺野靜夫外
△一、五〇B　大衆物語（金色の猫）大和天堂
△二、三〇　琵琶（江戸の曉鐘）柴田旭翁
△三、〇〇A　軍歌　香ケ丘合唱團
△六、〇〇B　（子供の時間）お話（お金を欲しがる人々）お話…平井泰太郎　助演…神戸商大KAコードモグルッペ
△六、三〇B　時事解說
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇A　小唄　唄…岡田米子　三味線…佐橋章子
△七、四五A　歌劇　東京音樂學校演奏會（ローイングリン）日比谷公會堂より中繼
△九、〇〇A　新內（廓文章…吉田屋の段）富士松佐賀尾
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象

學生外套
女學生同　折込電氣スタンド進呈
當籤番號發表

7	26	56	85	111	129	151	178	214
9	28	59	94	113	131	156	180	215
11	31	61	100	116	136	157	189	224
12	32	69	104	118	137	161	191	228
16	37	80	105	119	140	168	198	
19	39	82	107	120	142	171	206	
23	53	84	108	125	150	176	209	

參拾名樣へ進呈の處御好評のため
六拾名樣へ進呈
折込電氣スタンドは十七日より廿五日まで番號券引換に差上ます。
ふかや洋服店　平電二〇三

金銀高價買入
純金九圓十錢買入
大判　廿二金　七圓七〇〇錢
小判　廿八金　六圓七〇〇錢
金蛭　五圓七〇錢
以上
付ニ仆一
尚相當御持合せの方には特に御相談致します！
金光堂時計店
平五電一九五

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士山内亨吉
入院隨意
病室完備
電話六九一番

開業廣告
內科　醫學博士　渡部義夫
外科
產婦人科　醫　渡部きい子
小兒科
（入院應需）
平町田町大通
渡部外科
電話二七七

難波醫院
內科　醫學博士　難波睦
外科
平町大町新川端（電話五〇二番）

產婦人科花柳病科
井阪醫院
平町田町
午前宅診
午後往診
入院應需
（元合津醫院跡）
電話五五九番

家庭温泉御案內
日本一の靈湯草津の元泉に化學的採作を加へたる
草津温泉湯の素
家庭風呂に外用に！冬の保健衛生に最も適す
心地よく温まり絶對に湯冷めせず湯上り氣分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。
冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、
其他一般消毒用として特効あり。
定價（一〇〇瓦入凡五日分五十錢、二五〇瓦入凡十二日分一圓、六〇〇瓦入凡三十日分二圓）
其他浴場用旅館用大德用あり、試用分無代進呈
石炭の御用命と共に是非御使用を御奬めいたします。
海岸線代理店　石炭商　伊藤軍二商店
平町一丁目電話三四九番
發賣元　草津温泉研究所營業部
各町村一ケ所に限る御申越あれ
特約販賣募集
特に御相談に應ず。

吸入用酸素
純度99%
◎秤ノ取リ方
糸・修繕・重ね
援致シマス
度量衡
モノサシ
マス
カリス
計量器
体温器
寒暖計
開內藥局
電話四〇番

王の器療治庭家
ーラーヘシキオ
（ずら非に氣電し但）
オキシヘーラは心臟の働きを强くし病を根本より治す。理論より實驗は非一度御來訪御實驗のほどを——。
高血壓、輕症中氣、心臟病、ルイレキ神經衰弱、生殖器衰弱、神經痛、リウマチス、流行性感冒、肺炎、氣管支加答兒、ロクマク炎、喘息、胃腸病、黄疸、膽石、腹膜炎、盲腸炎、中耳炎、カクマク、ソコヒ、蓄膿症、痔疾、皮膚病、禿頭病、腎臟病、脚氣（症）脳カタル、糖尿病、丹毒、婦人病、打身、切傷等々。
◎急性症にして發病直後に治療せば多くは數日にして全治し、難症、痼疾と雖も熱心繼續治療によつて必ず治癒す
◎慢性の方は器械を買求め御自宅にて御治療せられたし。
七ケ郡一手販賣と實驗治療　原田良節
オキシヘーラー平實驗所
平町田町役場通り四九

うなぎ御用命は
うなぎ奴
平町田町（電話二二番）
ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を！

毎度御ひいき
有難ふ御座ゐます。

地元、會社、縣當局との相談漸次歩み寄らん

小名濱商港地元負擔寄附問題に急轉回の機運生じ來る

小名濱商港修築費地元負擔問題を聞き知つた北海道の金二十二萬五千圓中十萬圓炭鑛側では相談の如何により炭鑛の寄附に仰ぐべく町代表小野前縣議は此程鈴木代議士と共に淺野翁の百萬圓寄附問題以來初めから最も關係の深い磐炭本社を訪れ前川專務と會見懇談の上、更に縣當局の意向を叩く事となり、前記兩氏及鈴木町長は一昨十五日出縣、赤木知事、赤土內務部長との間に懇談を重ねた結果土肥縣土木課長が明後十九日上京し炭鑛代表の前記前川磐炭專務と會見する事となり、問題は何れかに急轉回するものと觀られてゐるが一方該地元負擔問題を聞き知つた北海道の等かの條件を附し地元炭鑛との間に左右の決定を觀るを示すに至つたので其間何とも注目の要あり氣なる態度べく豫想さる

奪い汗の奉仕で貧困兒童を救濟

平窪村曲田青年の義擧

平窪村曲田戸丸金治外八名の青年は數年前から慈善事業と窮乏せる村財政の改革を目的とせる親交會を組織し之が基本財産造成の爲月二回の農休みに働き得た零細な金を積立て田畑一反歩の軟弱を叫ばれて居る折柄村民はこの奇特な行爲を賞めと觀られてゐるが一方該作販賣した米、野菜類の賣上代の一部十五圓を此程同村小學校貧　兒童の救濟資金として寄贈したばかりでなく他の模範とするに足る自力更生の實を擧げつゝある事は村民の讃嘆してゐる

神走の夜風を衝いて馳せ集ふ警官七十名

今曉平署で非常召集の壯擧

平署では今十七日午前零時から管內巡査七十餘名の非常召集を行ひ郡下を二班に分け平、內郷の二ヶ町村に嚴重なる警戒網を張り前科五犯野寺顯治(四七)外十二所部長が平驛で檢擧した驚くべき少年窃盗團等合計三件を擧げ好成績裡に午前五時警戒を解き七時から小田部署長の講評後同署の氏神旭神社に參詣會議室で慰勞宴を張つたが右に就て小田部署長は語る

從來非常召集には捕城演習を行つたが既に時代遅れの觀があるので今年は實地警戒を行つた卷應成去る八月中平町立町アタリ玩具店から家人の隙を窺ひ賣溜金十圓を掻つ攫つた、自分も町內を歩いて見たが戸締が極めて不完全で十餘軒も開けて見たが開かなかつたのは僅か二軒のみで之の點一般の注意を促したいと思ふ。

非常網の焦点々

闇に蠢く處を御用

針金を搬び掛つた五犯の曲者

非常警戒中午前二時頃平保無を云はせず引っ捕へ同行線區の鐵道線路脇に在つた取調べると同人は內郷村綿鐵筋用針金を荷車に積んで堀坂前科五犯野寺顯治(四七)を大谷刑事、宗像巡査が有き嚴重取調中である

映畫擬きの少年窃盗團

平町古鍛冶町小太郎二男柴男佐藤新七(二)同字チンビ野驛(二)內郷村小島幾八長ラ事佐藤忠造(三)同村綴小林高道(三)何れも假名—の四名は活動寫眞の惡感化を受け『怪雷組』と稱する窃盗組を組織し首領株の新七は平町立町アタリ玩具店から家人の隙を窺ひ賣溜金十圓を掻つ攫つた、自分も町內を歩いて見たが戸締が極めて不完全で十餘軒も開けて見たが開かなかつたのは僅か二軒のみで之の點一般の注意を促したいと思ふ。

磐中人國記　十六

赤井嶽男記

磐中の誇り比佐代議士の事ども

曜日の晩慈善寺の本堂で開かれた青年會中のビカ一として全會員の雨の如き禮讃憧憬を鍾め『昌ちやんの眞似する』多くの模倣者を出した、當時戰死した松崎大尉の棺前に於ける尖端的な弔辭演說などは全村の會葬者が文字通り涕涙滂沱として傾聽したものである。

×

曾て某紙の記者が辯の人としての彼の過程を記ずに承前。澎湃たる怒濤に直面して大聲疾呼竟に血を吐くに至つたデモステネスの演說の稽古振りは彼が年少夙くも共鳴私淑した處があつた。その急雨の如く私語の如く豪宕哀切轉變極りなき巧みな抑揚と大膽なるゼスチユアとは每土當りデモステネスをダイオゼネスと穿き違へて書いた事がある、その所謂陋巷の君子から想ひ出したが彼はその早稻田時代に於て宛然一モリストであつた、早稻田大學生の彼は東京から備醬油で煮締めた樣な麥藁の帽子を愛用し蟄中休暇ボッカ帽を愛用し蟄中休暇眠術を輸入して昌ちやんのは勿論の事寒い時の歸省に歸省を開き傳へて遊びに來る多くの子供や友達に誰彼嘲の夢を貪つたり一寸外の郎の氣を揉ませ乍ら涼しい顏で山はサンサンたり川はセンセンたり、水はスイスイたり、なんてブロークンな駄洒落を云つて喜んでゐる當時の彼こそは實に高等官二等俸給こそ田舍廻りの會報告演說會は明十八日午後一時から內郷村昭和館に於て開催すると

比佐代議士報告演說會　比佐代議士報告演說會　議士議

植田驛員賞與　植田驛員

年官能の新田町邊景氣は漂ふ

迫る三二年を忘ればやと連夜の酒盛り

……(P)……

▽　△

『酒と女を抜きにして32年が越されるけえい！』……てな調子で今年も其方、此方に忘年會が始まつた。萬圓內外位あるものと觀られてゐるが抵當の酒一石に付三十圓で利子は六分五厘であると

▽　△

三味、太鼓、爆笑の錯綜せるさんざめきは不景氣をよそに師走の街頭に流れて來る。

▽　△

官能の街新田街にも一脈の活氣は漂ひ、夕されば光く自轉車を飛ばして來た番頭さんがヒラリ！と飛び下り漏れ來る窓邊の三味の音之の爪彈きにも、お座敷に急ぐ八の字の步調、その下駄の音も、思ひなしか一入の忙しさが感じられる。

▽　△

『ヘイ承知しやした、每度有難うございやす……』帳場に膨れてた酒屋の旦那の相格が崩れる『ピ、ピ、ピ、ピ—ピッ……』口笛も勇ましく自轉車を飛ばして來た番頭さんがヒラリ！と飛び下り乍ら莞爾、象期以上に註文の取れたらしい。

▽　△

物みな慌だしい師走にも傳統的の忘年會景氣は容易にすたらぬ、32年棹尾の恥ひは展開されて行く。

（玲光生）

僅か十錢の金が無い

滯納稅金の督促から觀た山間部各村落の窮狀

唯野平稅務署長は一昨十五日未納整理の爲山間部永戸箕輪に出張大活動の上十錢以下其他の小額納稅者二十四名、合計二十五圓程を殘したのみで引上げたが木炭昭和十二年迄に完了の見込であると

酒造稅第三、四期分は來春6進德工夫在日新　高1太平世界5德如海壽似山新しき年を迎へてふじの根のたかきすがたを仰ぎみるかな2年の立つあしたはうれし窓のとをあくれば匂ふ軒のうめか香

興銀低利金

石城酒造組合から一萬內外を希望か

酒造稅第三、四期分は來春6進德工夫在日新　高1太平世界5德如海壽似山新しき年を迎へてふじの根のたかきすがたを仰ぎみるかな2年の立つあしたはうれし窓のとをあくれば匂ふ軒のうめか香

書き初め

第二校の分決る

平第二小學校では正月の書始め題を左の如く決定した1ハツ日ノデ2年のはじめ3孝ハ百行ノ本4一統

通貨偽造未遂に懲役十年を求刑す

出こ積まれた材料の證據品今日平支部の公判

內郷村小島字川崎居住札幌市豊平村生れ前科十七犯金成寛七(五九)に係る通貨偽造未遂事件の公判は今十七日午前十時から平支部に於て中島裁判長係、關口、竹內兩判事陪席、小林檢事關與永野官選辯護士立會開廷、證據物件は仕事だけに

空瓶、眞鍮、鋼鐵、セメント、茶椀、齒磨粉、篩亜鉛、錫、硼砂、油瓶、ヤットコ、錐、鑿、鑪、曲尺、薄ベリ

が山と積まれた。十七犯の前科を有し十五年の懲役を終へて昨年十二月釧路刑務所を出たと云ふ永らくの獄舍住ひに腦天のまん中が禿になつた被告は

證審で五十圓程と述べたのは間違ひで幾ら位造ると云ふあてはなかつた、札幌に居る時分渡邊喜藏といふ者に造つて見せられたので他人に言ふとなぐられたので一寸やつて見樣と始めたのです

とのべ懲役十年を求刑された、言渡しは二十三日

芳友會活動

小名濱の修養團体

小名濱小學校訓導野口實外小名濱小學校訓導野口實外五十餘名の青年有志は數年前から芳友會を組織し每月一日の例會及時々名士の講演會を催して修養に資し尙は各種奉仕に從事して來たが昨十六日からは每月一回火防交通衛生公德四個條の宣傳に從事し休業日の勞働より得た金を基本金として着々同會のモットーである

電話格安讓渡し

御希望の方は稅務署裏新川筋村上方へ御來談を乞ふ。

猪狩氏長逝

地方請負界の古參

志樣の堅實と思慮の綿密な點から地方請負業に重きをなしてゐた平町田町平町土木組合常任幹事猪狩菊三郎氏は豫て病氣中の處藥石効無く今曉二時半長逝、行年五十九歳、葬儀は明十八日自宅出棺胡摩澤長源寺に於いて執行する

氏は好學村川中子出身前後十四年間を丸山組に勤め後獨立して十餘年前水戸保線事務所の指定を受け爾來着々として確實な地歩を築いて今日に至つた。惜哉

住み良き小名濱町を建設する事となつた

列車妨害犯人はお互足りぬ同志

昨平支部廷での陳述

勿來町四濕向二九農秋元道裡に開廷されたが秋元は七月二十八日午後八時頃錦村中田地內の線路で田に水をかけに來た雇人の鯉淵に逢ひ汽車を轉覆させると大騒動が始まつて面白いから手傳はないかと相談をかけて拒まれたが同人が小學校も卒業出來す農業も自發的に出來ない程の獅鈍に乘じ菓子を買つてやるからとて同人を納得させパールを以て土止め用の枕木二本をとり外しレールの上に横たへ勿來發八時四分下り列車の通過を見守つてゐた處列車はそれを粉碎排除して通過したので他人に言ふとなぐられたのを幸ひ鯉淵の口止めをして引上げた。云々

小學六年の時落第以來子守などをしてゐた少々足りない處を見せた、上田檢事は同人の翌夜折柄東京より歸省の際之種の事故がもしあつたらと考へて安い心地も八分下り列車の通過を見しなかつたと昨報通り秋元に六年、鯉淵に三年の求刑

なぞと鯉淵の口止めをして引上げた。云々

官能の新田町邊景氣は漂ふ

三二年を忘ればやと連夜の酒盛り

三味、太鼓、爆笑の錯綜せるさんざめきは不景氣をよそに師走の街頭に流れて來る。

▽　△

『ヘイ承知しやした、每度有難うございやす……』帳場に膨れてた酒屋の旦那の相格が崩れる『ピ、ピ、ピ、ピ—ピッ……』口笛も勇ましく自轉車を飛ばして來た番頭さんがヒラリ！と飛び下り漏れ來る窓邊の三味の音之の爪彈きにも、お座敷に急ぐ八の字の步調、その下駄の音も、思ひなしか一入の忙しさが感じられる。

▽　△

物みな慌だしい師走にも傳統的の忘年會景氣は容易にすたらぬ、32年棹尾の恥ひは展開されて行く。

（玲光生）

芳友會活動

小名濱の修養團体

小名濱小學校訓導野口實外小名濱小學校訓導野口實外五十餘名の青年有志は數年前から芳友會を組織し每月一日の例會及時々名士の講演會を催して修養に資し尙は各種奉仕に從事して來たが昨十六日からは每月一回火防交通衛生公德四個條の宣傳に從事し休業日の勞働より得た金を基本金として着々同會のモットーである

猪狩氏長逝

地方請負界の古參

志樣の堅實と思慮の綿密な點から地方請負業に重きをなしてゐた平町田町平町土木組合常任幹事猪狩菊三郎氏は豫て病氣中の處藥石効無く今曉二時半長逝、行年五十九歳、葬儀は明十八日自宅出棺胡摩澤長源寺に於いて執行する

氏は好學村川中子出身前後十四年間を丸山組に勤め後獨立して十餘年前水戸保線事務所の指定を受け爾來着々として確實な地歩を築いて今日に至つた。惜哉

住み良き小名濱町を建設する事となつた

列車妨害犯人はお互足りぬ同志

昨平支部廷での陳述

勿來町四濕向二九農秋元道裡に開廷されたが秋元は七月二十八日午後八時頃錦村中田地內の線路で田に水をかけに來た雇人の鯉淵に逢ひ汽車を轉覆させると大騒動が始まつて面白いから手傳はないかと相談をかけて拒

通貨偽造未遂に懲役十年を求刑す

出こ積まれた材料の證據品今日平支部の公判

內郷村小島字川崎居住札幌市豊平村生れ前科十七犯金成寛七(五九)に係る通貨偽造未遂事件の公判は今十七日午前十時から平支部に於て中島裁判長係、關口、竹內兩判事陪席、小林檢事關與永野官選辯護士立會開廷、證據物件は仕事だけに

空瓶、眞鍮、鋼鐵、セメント、茶椀、齒磨粉、篩亜鉛、錫、硼砂、油瓶、ヤットコ、錐、鑿、鑪、曲尺、薄ベリ

が山と積まれた。十七犯の前科を有し十五年の懲役を終へて昨年十二月釧路刑務所を出たと云ふ永らくの獄舍住ひに腦天のまん中が禿になつた被告は

證審で五十圓程と述べたのは間違ひで幾ら位造ると云ふあてはなかつた、札幌に居る時分渡邊喜藏といふ者に造つて見せられたので他人に言ふとなぐられたので一寸やつて見樣と始めたのです

とのべ懲役十年を求刑された、言渡しは二十三日

書き初め

第二校の分決る

平第二小學校では正月の書始め題を左の如く決定した1ハツ日ノデ2年のはじめ3孝ハ百行ノ本4一統

太平世界5德如海壽似山6進德工夫在日新　高1新しき年を迎へてふじの根のたかきすがたを仰ぎみるかな2年の立つあしたはうれし窓のとをあくれば匂ふ軒のうめか香

電話格安讓渡し

御希望の方は稅務署裏新川筋村上方へ御來談を乞ふ。

猪狩氏長逝

地方請負界の古參

志樣の堅實と思慮の綿密な點から地方請負業に重きをなしてゐた平町田町平町土木組合常任幹事猪狩菊三郎氏は豫て病氣中の處藥石効無く今曉二時半長逝、行年五十九歳、葬儀は明十八日午前二時半死去致し候間此段御通知申上候

敬具

追而葬送の儀は明十八日午後二時自宅出棺胡摩澤長源寺に於て執行可仕候

猪狩菊三郎

鐵道省請負

水戸協會平支部

父菊三郎儀永々病氣ノ處藥石効ナク本日午前二時半死去致シ候間此段及御通知候也

敬具

昭和七年十二月十七日

男　猪狩圭爾

親戚總代　丸山慶治

友人總代　佐々木健一郎

丹野幹之丞

前澤文太郎

鐵道省請負

水戸協會平支部

平町土木請負組合常任幹事猪狩菊三郎殿病氣の處療養相叶はず本日午前二時半死去致し候間此段御通知申上候

敬具

追而葬送の儀は明十八日午後二時自宅出棺胡摩澤長源寺に於て執行可仕候

平町土木請負組合長

前澤文太郎

猪狩氏長逝

地方請負界の古參

志樣の堅實と思慮の綿密な點から地方請負業に重きをなしてゐた平町田町平町土木組合常任幹事猪狩菊三郎氏は豫て病氣中の處藥石効無く今曉二時半長逝、行年五十九歳、葬儀は明十八日午後二時自宅出棺胡摩澤長源寺に於て執行可仕候

平町土木請負組合常任幹事猪狩菊三郎殿病氣の處療養相叶はず本日午前二時半死去致し候間此段御通知申上候

敬具

追而葬送の儀は明十八日午後二時自宅出棺胡摩澤長源寺に於て執行可仕候

平町土木請負組合長

前澤文太郎

係のボーナスは十六日支給は卒業式當日の展覽會圖書三年以下卒業に關するポスター、三年新年繪葉書、二年羽子板の圖案を課する事となつた

。隔離。湯本町台の山佐川春太郎(八)は昨十六日ヂフテリアと決定隔離された

農業水利〜渡邊外三ケ村農業指導〜の農業水利及匡救土木事業事務指導は明十八日午前九時から平國体事務所で小山縣屬に依り行はれる

。蠶業取締開所式。二十二日曙行する筈であつた蠶業取締平支所の開所式は二十三日午前九時からに延期された

。豊盛座開場式。此程新築落成した豐間村劇場豊盛座の開場式は關係各方面を招待し二十一日から三日間行はれる

。板木澤道路竣功。好間村板木澤地內の土木匡救事業は昨十六日竣功勞働者延八百人を使用した

。高女宿題決定。磐城高女では二十五日から始まる冬休中の宿題として四年生に

路刊定廳帶
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神誠館

舊十二月廿一日　日曜　新暦一月一日　癸丑　先勝　日柱　房宿

△一白の人　腹識なく長上に謀りて方針を定むるが得策△二黑の人　短慮な慎むと共に他に心移りを起さぬが吉△三碧の人　行路難じふなる日急がず一歩一歩とふみ占よ△四綠の人　同情薄らぎて針のむしろに座するの感あるべし△五黃の人　喰違ひを起さぬ樣慎重なるが安全病厄注意△六白の人　障がいを意とせず信のくわん徹に勉むれば成就△七赤の人　盛運榮達の日努力に依りて大發展を遂げん△八白の人　懸念深きは萬事の發達を妨ぐじ承發奮せよ△九紫の人　元氣は活動力の油となりて盛々好轉すべし